

## 式 辞

うららかな日差しが、赤い薨の木造校舎に降り注ぎ、日に日に春の息吹を感じる、このよき日に、本校を巣立つ三百十五名の卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

本日は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、卒業生、保護者、教職員での卒業式となりました。日頃から本校を支えてくださっている御来賓の皆様の御臨席はありませんが、卒業生の皆さんに心からお祝いを申し上げたいとの御来賓の皆様のお気持ちを代わりにお伝えいたします。

さて、卒業生の皆さん。先ほどの呼名に応える声、さらに、わたくしから見る皆さんの姿は、一人一人がキラキラと輝いて、とても頼もしく見えます。皆さんは、本日をもって中学校三か年の課程を修了し、小学校から数えて九か年の義務教育を終えました。この九か年で身に付けた「生きる力」を十分に活用し、自分自身で選んだ道に向かって、力強く進んでください。

私が皆さんと出会ったのは、昨年の4月の始業式でした。整然と体育館に入場し、静かに開式を待ち、私が話を始めると全員が顔を上げて話を聞く姿に感動したことを覚えています。プレハブ校舎から大規模改修工事が完成した北校舎へ移り、国産木材ならではのさわやかな木の香りに包まれた北校舎で、皆さんは第3学年をスタートすることになりました。

私たちの誇りである、歴史と伝統に支えられた、木のぬくもりを感じるこの木造校舎は、いつも皆さんを優しく見守ってくれています。

修学旅行では、特に皆さんの優しさに心打たれました。車いすで参加した生徒に、皆さんは本当に優しく、自然に支援をしてくれていました。お土産を買うとき、車いすの友達の手が届かないのを気かけ、自然に取ってあげていました。また、けがをした生徒に優しく励ましの言葉をかけてくれる人も多く、何度も心が温くなる場面がありました。

部活動の大会に応援に行きました。三年生ばかりか、後輩や先生とも一体となって戦い抜く姿は美しく、敗れて涙を流す姿にも一生懸命やってきたからこそその情熱を感じました。流した涙、また、勝利した喜びは、皆さんの心を大きく成長させてくれたと思います。

日々の授業、今年度も6月から猛暑で、とても暑い日の午後でした。県教委の指導主事が、3年生の全クラスを参観し、どの教室も姿勢のよい意欲的な授業態度に驚きを隠せない様子でした。先生とのやり取りを楽しみながら行われる授業は、アットホームな雰囲気でありながら、集中力を発揮できていました。

猛暑の中で一生懸命練習した体育会。「晴ル矢！！2019」では、陸上競技場の風、緑の芝生、太鼓の音が舞台になり、その華麗で力強い演技で観衆を魅了しました。1・2年生、保護者や地域の方々が、大きな拍手で皆さんの演技に応えようと声援を送っていました。

皆さんが西中学校に刻んできたすばらしい出来事は、その一つ一つをすべて紹介する時間はありませんが、すべて後輩に引き継がれ、倉敷ナンバーワンを目指す西中学校の伝統の一つに加わったと思います。

本年度、時代は「令和」となりました。皆さんは、西中学校「令和」最初の卒業生です。「令和」には、「一人ひとり（の日本人・国民）が明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたい」との願いを込めたとのこと。一人ひとりのよさを輝かせる時代の幕開けです。

この令和の時代の幕開けに、私から皆さんに贈る言葉があります。「春風吹いて美しき花咲く、みんな世の中の春風になれ」です。皆さんには、一人一人すばらしいよさがあります。春風のように温かく、周りの人々のよさ、それぞれの美しい花を、引き出す人になってください。世の中の春風とは、そういう人々です。互いに世の中の春風となって、互いのよさを見

つけ合おうではありませんか。

私は、皆さん一人ひとりのよさを発見し、それをグッドビヘビアチケットに書いてきました。気持ちのよいあいさつ、掃除の時間、給食の準備片付け、配付物を取りに来るなど、皆さんの行動の中に、素晴らしいよさがたくさんあります。

私は、人のよさを見つけるとき、人は自然に笑顔になると思います。また、よさを見つめられた人も笑顔になります。私たちは人と出会って、互いのよさに注目することによって、最高の喜びを得ることができるのではないのでしょうか。

よさに注目することは、人に接するときだけではなく、皆さんがこれから歩いていく未来には、楽しい出来事だけではなく、数々の試練や困難が待ち受けているかもしれません。そのときこそ、その試練や困難の中に、成長のきっかけや乗り越えようとする努力、また、乗り越えた自信が次へのエネルギーになるというよさがあります。このように試練や困難をポジティブに変換し、成長の糧とする力も、よさに注目することで養われると思います。

最後になりましたが、保護者の皆様、お子様の御卒業、まことにおめでとうございます。本日、晴れの日を迎えられ、さぞ感慨無量のことと存じます。これからもお子様を見守り、温かく励まし勇気づけていただきますよう、お願いいたします。また、お子様の在学中、本校にお寄せいただきましたご支援、ご協力に、こころから感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

卒業生の皆さん、いよいよ母校、西中学校からはばたくときが近づきました。皆さんは、西中の「明るさナンバーワン」「元気さナンバーワン」「前向きさナンバーワン」「優しさナンバーワン」そして、倉敷ナンバーワンを、様々な場面で実現してくれたと感謝しています。

これからも西中学校の卒業生としての誇りを胸に、これまで、みなさんを支えてくれた友達、保護者、先生をはじめ、これから出会う多くの人々への感謝の気持ちを大切に、笑顔でしなやかに人生を生き抜いてください。

令和2年3月13日

倉敷市立西中学校長 松本 一郎

**倉敷**  
**No. 1**  
**を目指す**  
**西中学校**

